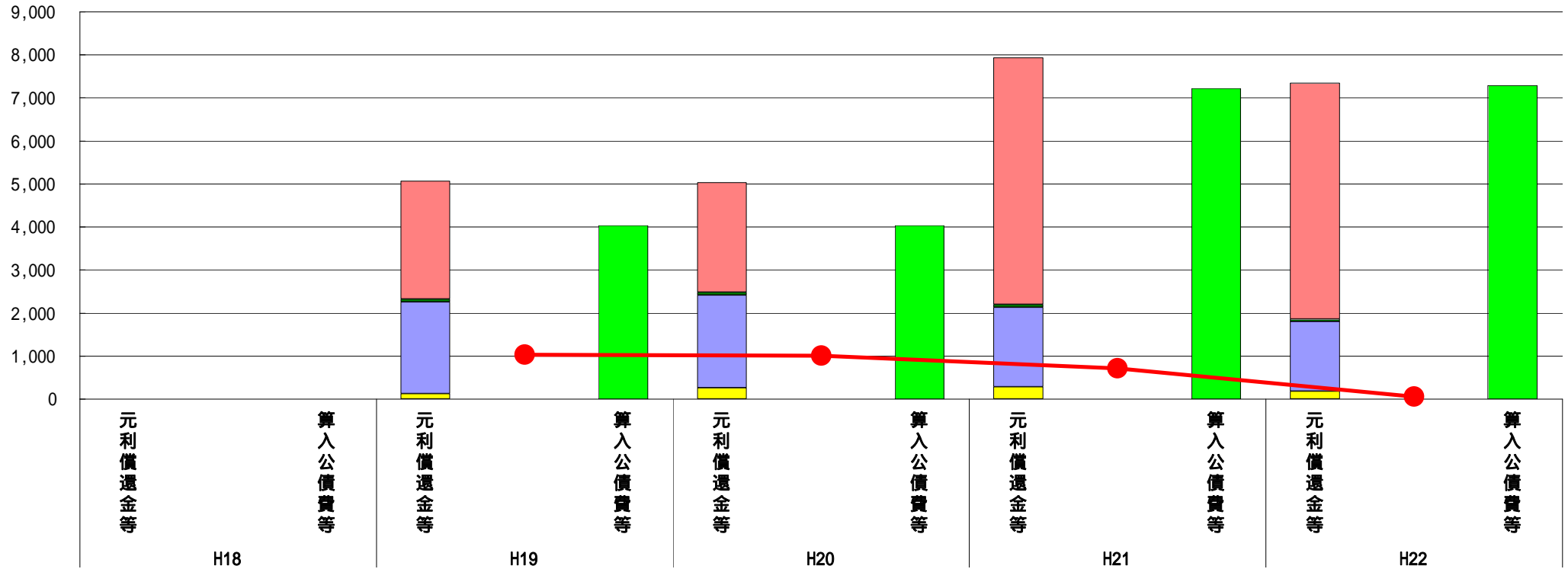


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

神奈川県鎌倉市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等(A)	元利償還金	-	2,744	2,555	5,729	5,483	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	67	67	67	67	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	2,133	2,159	1,854	1,614	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	-	-	-	-	
	債務負担行為に基づく支出額	-	123	256	281	183	
	一時借入金利子	-	-	-	-	-	
算入公債費等(B)	算入公債費等	-	4,032	4,033	7,220	7,285	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	1,035	1,004	711	62	

分析欄
 高金利地方債の償還が進んだことにより元利償還金の額が減額したことや資本費平準化債の活用による下水道事業への繰出金が減額したことにより公営企業に対する繰入金が減額したことなどにより、実質公債費比率の分子は大幅に減額した。

平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。